

第一日 (三月二十九日)

午後零時三十分開會者黒田善男氏開會の辭を述べたる後直ちに議長並に副議長の選挙に入り、大會の承認を以て左記の如く決定した。

議長 杉山元治郎氏、副議長 石田宥全氏

松本積全氏、宮向國平氏

杉山元治郎氏議長就任の挨拶として大要次の如く述べた。御承知の如く昭和五年以来り農業恐慌によりて、農民の生活は極度に窮乏化せるを以て、全國各地より「我等農民を救へ」といけはる、に至つた。この結果、政府は臨時議會を招集して「救農予算案」を起したるが、これによつて農民は救はれることなく却つて各地に於て、お作人の生命とも預んを奪

土地が道路敷設等によつて取上げられ、林なはな態で、現社福岡縣などには亦ては非ず々々件々起つて存存不存である。

さらば、政府は今議會に於ては三十二億といふ未だハツたはなな、龐大な豫算案が通過したのであります。其の結果として、物薄い勢で、吾々より上に襲はかゝつて、農民の苦痛は、いん底に陥ることは明か事事実である。今や吾々組織農民は生活權の擁護のため勇敢に闘争せねばならぬ。我々の連去一年の闘争の結果を静かに考へる時、多々の誤謬をおかして来てゐるのであるが、これ等は潔く清算して、正しい方針の遂行のため遂進しなければならぬ。云々

- 大會書記 角田藤三郎(長) 外四名
- 大會執行委員 川俣清音(長) 外三名